



ひらんぽ



サワリ探偵ひらんぽが行く



ひらかた市民菊人形の会

「ひらかた大菊人形」は明治時代からの歴史がありましたが、職人の高齢化や後継者不足のため、2005年をもって閉幕しました。しかし伝統的文化としての菊人形を後世に継承するため、市民ボランティアを公募し、2006年に「ひらかた市民菊人形の会」が発足しました。現在のメンバーは12人です。菊人形は一般の菊ではなく、人形菊を育てるところから始まり1年がかりだそうです。

さて、菊人形作りです。頭部は、型に紙粘土を載せて色付けし、髪の毛は人形制作に使用されるドールヘアを使います。手作業で縫い付けるため非常に時間がかかるそうです。「胴殻(どうがら)」は、竹ひごで胴体部分の骨組を組み立てる作業です。

次に胴殻に菊をつけていく「菊付け」ですが、ひと口に人形菊といってもたくさん種類や色があり、菊付けする人のセンスと腕の見せどころです。人形の裏を見せてもらうと、根が水を補給する水苔までつながれています。展示中はこの水苔に絶えず水を補給しなければならず、見えないところの苦勞が欠かせません。

また、菊付けするときは、お客が見る時に満開になるよう、5〜6部咲きを選ぶそうです。それでも思い通りに咲いてくれるかは、その時になってみないとわからず、ハラハラドキドキです。それだけに展示会で菊がうまく咲いてくれると、嬉しさもひとしおのこと。伺った日は、まさに菊付けの真っ最中で、猫の手も借りたいほど忙しそうでした。

「ひらかた菊フェスティバル」は、10月27日〜11月15日に開催。市民菊人形展以外に、ひらかた菊花展、枚方街道菊花祭、ひらかたパーク菊人形展も各所で行なわれます。ぜひ「ひらかたの菊」を見に行ってみてください。

(文・向井 範雄)



NPO基礎講座「NPO法人になったら できること」

6/13
(日)
開催



講師・川畑 恵子さん

ひらかた市民活動支援センターには、日頃からNPO法人についての質問や相談が数多く寄せられます。

「現在、市民活動をしているが、法人化した方がいいのか」「社会貢献をしたいからNPOを作りたいのだが…」「NPO法人とそれ以外の法人との違いは？」など、さまざまです。

そこで、皆さんの質問にお答えするべく、NPO基礎講座「NPO法人になったらできること」を6月13日、如月オフィスの川畑恵子さんを講師にお迎えしてオンラインで開催しました。講座では、NPO法人運営と設立のために必要な知識やコスト、手続きの実際を学び、NPO法人化することの意味を一緒に考えました。参加者は19人。皆さん、熱心にメモを取ったり、うなづいたり。

講座後に、法人化のメリット・デメリットや活動に必要なスキルなど、参加者同士での意見交換も行われ、参加者の皆さんの「社会貢献をしたい!」「NPO法人を作りたい!」という熱い想いが画面を通して伝わってきました。

本講座で、参加者の皆さんが、「法人化を見極めるヒント」を見つけていただけたなら、うれしく思います。

(文・中野ともみ)



7/17
(土)
開催



SDGs de 地方創生 カードゲーム体験会



地方創生を実現する方法について考えるものです。

参加者は保護者を伴った小学生からシニア(私のことです)まで幅広い年代で10チーム。各チームは事業者や行政職員に扮します。私は観光業者としてSDGsの17の目標のうち、4件以上の「まちづくり」を達成するのがまず目標です。そのために資源、人材、お金を集めますが、他のチームと手持ちのカードを交換するのが腕の見せどころです。これを12分間1ターンとして4ターン行います。最終目標は枚方市の4つの指標(人口・経済・環境・暮らし)を4ターン(1ターンは2年を表すので8年)でどれだけ改善するかです。何もしないと人口は減るし、経済を優先すれば環境が悪化するといった矛盾も抱えます。

7月17日に開催されたSDGs de 地方創生カードゲーム体験会に参加しました。このゲームは、SDGsの考え方を地域の活性化に活かし、



「枚方市」の状況メーターと目標達成数の動き

	はじめ	1ターン	2ターン	3ターン	4ターン
人口	5	4	4	7	10
経済	5	6	6	10	11
環境	5	7	6	8	10
暮らし	5	4	7	11	16
個人の目標達成			5/10	8/10	10/10

その結果は4ターンを終わって各チームともそれぞれの目標を達成し、枚方市の指標もほぼ倍増ということになりました。最初は難しく、小学生にはちょっと無理かなと思いましたが、私が四苦八苦するのをしり目に、手際よくカードを処理していくのでビックリ。感想も「ミッションを達成できてよかった」「皆で協力しあえてうれしかった」と大人顔負けのコメント。枚方の将来は明るいです。(笑)

(文・向井 範雄)

**7/30・8/6
8/13(金)開催**

Googleサイトで作成する ホームページ作成講座



NPO法人・市民活動団体など組織的に活動を行っている団体では、広報活動が重要で必須です。それぞれの組織・活動におけるの広報内容などはさまざまですが、ネット上での広報は有効・有用な方法です。チラシやポスターなどの紙媒体も有効かもしれませんが、コスト面からもネット上の広報は重要です。若い世代はスマホでYouTubeやSNSが中心の生活スタイルになっており、フェイスブックやインスタグラムなどでの発信も必要になります。

SNSを使う場合も、より正確に多くの情報を提供したり、受付など応答のための基地となるホームページを運用することが求められます。SNSをホームページと連動することでその効果が倍増します。

ホームページ作成には多様な方法があり、CMS(コンテンツ・マネージメント・システム)の利用が一般的になってきます。その中でもGoogleが提供している「Googleサイト」が非常に簡単で、しかも無料で利用できます。特に写真や図を事前にアップロードすることなくコピーペーストできることは、他のCMSとの大きな違いであり、作業効率が上がります。

今回は「Googleサイト」を使って、実際のホームページを作成し公開する実践講座として開催しました。

(文・高尾千秋)



サプリ村野学校



7/13・20(火)・24・31(土)ママの学校
《一般社団法人ソルエユニーク》



7/17・31(土)マタニティカフェ
《マタニティチャームズ》



9/23・30(木)50歳からの演劇入門
《スティックシアター》



9/10・17・24(金)更年期から始めるヨガ
《枚方健康美活会》

今年度のサプリ村野学校は、7月、8月、9月に、6団体が10講座開催しました。どの講座も、感染対策を十分にとりつつ、活動を待ちわびた参加者の熱気で盛り上がりていました。

今後の開催については、ホームページや情報紙「ひらせんナビ」、広報ひらかたでご確認ください。



7/11・18・25(日)初めての銭太鼓
《パフォーマンスサークル「街」》



8/27(金)大人のためのえほんライブ
《ハーモニークラブ》

サプリ村野学校 実施団体 募集!

サプリ村野を会場に、市民を対象とした講座を実施したい団体を募集。メンバーを増やす機会や活動のPRの場として活用ください。

問合せ

TEL : 072-805-3537 / FAX : 072-805-3531
Eメール : info@hirakatanpo-c.net
http://hirakatanpo-c.net/manabis/sapurimuranogakkou



みんなの防災

8/12
(木)
開催

枚方市の「防災ガイド」を見てみよう



後半は、河川レンジャーとして活躍する山口さんの進行により、参加者の質問に対し、臼井さんから回答をいただきました。避難所にはペットを連れていけるのか？車で行っていいの？避難所までの道で危険なところがあるかどうか？また、外出時の防災情報は？取得すればいいか？市が避難情報を出すタイミングは？ライフラインの配給はどこに行けばいいの？といった質問が次々と出されました。災害時には、電気が止まり、キャッシュレス決済ができないので、小銭の用意が必要など、防災ガイドにも掲載していない最新情報を聞くこともでき、大変有意義な時間となりました。



全面改訂し、今年5月に全戸配布された枚方市の「防災ガイド」。8月12日に枚方市危機管理室の臼井さんを講師に迎え、みんなの防災「枚方市の防災ガイドを見てみよう」を開催しました。まず、今回の改訂の大きな点は、広域の被害想定を確認できるA1サイズの広域マップと、地域の水害リスクを把握できるA4サイズの分割マップに分かれている点です。広域マップでは、貼り出すこともでき、避難ルートが見やすくなっています。分割マップは冊子になっており、ハザードマップ以外に、防災に関するさまざまな情報が記載されています。また、分割マップは、地域の水害リスク別に分けられていて、自分の地域がどの河川の氾濫に備えればいいのかよくわかります。

コロナ禍でも起こり得る災害に備えて、皆さんの家にもあるはずの「防災ガイド」をチェックしてみたいかがでしょうか。
(文・重村 雅世)



9/4
(土)
開催

災害ボランティアセンター開設・運営訓練 inひこ防z



9月4日に、枚方市の総合防災訓練「枚方ひこ防z2021」が開催。その訓練の一環として、ラポールひらかたで「災害ボランティアセンター開設・運営訓練」を実施しました。当日は、枚方市災害対策本部、災害ボランティアセンター、ひらかた市民活動支援センターをZoomによるオンラインでつなぎ、eコミュニティ・プラットフォーム、通称eコミの画面を使って災害情報とボランティア情報を共有していきました。

ラポールひらかたの訓練会場では、二重電話を受け付ける電話班、情報を整理するリスト整理班、一番時間のかかるコーデイナーネット班に分かれ訓練を行いました。想定外の要望で対応に戸惑う様子も見受けられましたが、班のリーダーと共に確認しながら進めていきました。平常時から繰り返し訓練を重ねていくことが、非常時に生きてくると実感しました。
(文・重村 雅世)



10/23
(土)
開催

高校生・大学生ディスカッション HIRAKATA Think&Action for 2030 Action実践編

「HIRAKATA Think & Action for 2030」は市内の高校生・大学生を対象に、令和2年度より実施しているディスカッション事業です。

2030年も理想的なまちであるために、自分たちに何ができるかを考えた「Think編」。オンラインミーティングを重ねて、より具体的にできることについて考えた「Action準備編」。その集大成となる「Action実践編」の活動成果発表会を10月23日に実施しました。

地域とのつながり班

地域とのつながり班は、「SDGs」について調べ、日本のSDGsの達成状況の低さ、危機的状況であることに着目し、改めて「自分たちにできること」について考えました。

「SDGsを多くの人に知ってほしい」。そのために、SNSでの共有や、学生が企業にプレゼンを行う。

そして企業と学校、枚方市が強いつながりを持つことよって広まっていくということでした。発表の中で特に印象的だったのは「子ども食堂の活動をしたい」という発表。きっかけは、

中学の時の友人が取り組もうとしたもの、うまくいかなかったため、そのリベンジをしたいという内容でした。中学生の時からこのような発想ができることは素晴らしいと思いました。

他にも、使い捨てられているビニール傘をリサイクルバッグにリメイクしている会社やフェアトレードの紹介があり、どれも興味深い発表でした。

最後に、「地域とのつながり班」の原点に立ち返って「枚方めぐりパンフレット」の作成を枚方市に提案しました。



環境(自然環境・住環境)班

環境(自然環境・住環境)班は、「高校生や大学生といった若者が、ごみ問題・環境問題について考え取り組んでいるということ、たくさんの人に知ってもらいたい」という思いから、家庭から出るさまざまなプラごみを使って、『ごみアート』を作成しました。

作り方がネット上でも紹介されているペットボトルを使ったおもちゃ・プレスレット・ペットボトルキャップマグネット、その場の発想で考えたアクセサリー・小物入れ等、工夫を凝らしながら「捨てる前にもう一度」という視点で考え、作りました。

「簡単なようで難しい」、「短時間でできそうで意外と時間がかかる」等、実際に作ってみてわかったことがたくさんありました。そして何より、「作ってそれで終わり」「でき上がれば満足」ではなく、作ったその後、その先を考える必要があると感じました。



持ち寄ったプラごみ



ペットボトルキャップマグネット



万華鏡



プレスレット



彼ら・彼女たちの活動はこれで一区切りですが、「HIRAKATA Think & Action」の取り組みは続けていきたいと思っています。今後も「若者」の発想と行動力に期待したいです。今年8月に、緊急事態宣言の発令により延期となった高校生・大学生ディスカッションは、11月14日に実施予定です。(文・松宮有里)

ひらかた NPO フェスタ 2021

あなたにできるSDGs
- ヒントはNPOフェスタにある -

残念ながら中止となった
ひらかたNPOフェスタ2021
ですが、出展予定だった団体をWEBで紹介していきます。
近日公開！乞うご期待！



ひらかた市民活動支援センターでは
新型コロナウイルス感染防止対策を実施中！

マスクの着用 検温 手指の消毒 ソーシャルディスタンス

編集後記

今回から新コーナーをスタートさせてみました。
その名も「サブリ探偵ひらんぼが行く」。探偵ひらんぼが、サブリ村野で活動する団体を調査(笑)しに行きます。最初は、季節的にも旬な枚方が誇る伝統文化「菊人形」を調査しました。メンバーは全員ボランティア、人形ができていくまでの一連の流れ、どれも驚きでした。次回はどこを調査しましょう…お楽しみに。
(編集者・M)

【編集・発行】
特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター
〒573-0042
大阪府枚方市村野西町5-1サブリ村野内
TEL：072-805-3537 / FAX：072-805-3532
Eメール：info@hirakatanpo-c.net
http://www.hirakatanpo-c.net/

- 特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター @hiracen
- ひらかた市民活動支援センター公式インスタ @hiracen_info
- ひらせん(ひらかた市民活動支援センター) @hiracen_info
- ひらかた市民活動支援センターYouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCnqmRjf1jdpNx8bsdCRKNGq>

↓旧データバンク(現在休止中)

↓新データバンクイメージ

「ひらせんデータバンク」リニューアル準備中

「ひらせんデータバンク」は、2013年より、当センターのホームページとは別サイトとして、団体活動や講師紹介等の情報を提供を行ってまいりました。また、ホームページでは、登録団体の紹介や助成金情報などの提供をしています。

現在、これらを統合した新たな「ひらせんデータバンク」としてホームページのリニューアルを進めています。(運用・メンテナンスの効率化のために、現在はグーグルサイトを使って準備を進めています。)

今年度は、「登録団体情報」、「助成金情報」の提供から始め、11月末には公開する予定です。その後は登録団体との情報共有機能等も追加し、NPO法人や地域活動団体の支援につながる情報提供サービスとして充実を図っていきます。ご期待ください。

(文・高尾千秋)

イラストだより

シヨン城はスイスのレマン湖のほとりにある城で、バイロンの抒情詩「シヨンの囚人」の舞台となったところです。ほかに観光客がいなかったため、まるで16世紀にタイムスリップしたような気持ちになりました。

近くにはリゾート地で、ジャズフェスティバルで有名なモントルーがあります。湖畔を散歩していると、右手を空に突き出した男性の像が。その時はまだ「ボヘミアン・ラプソディ」の映画を観ていなかったため「なんや、このオッサン」と思った程度でしたが、後でフレディ・マーキュリーと知ってビックリ。もっとじっくり見ておけば良かったあ。トホホ。

(イラスト・文/向井 範雄)